

もりおか啄木・賢治青春館
第56回企画展

生誕85周年記念

動物哀歌 村上昭夫展

私は、この詩集に、啄木より賢治より、もっと心霊的で、
しかも造形的な文学を見る。

詩集『動物哀歌』序 詩人 村野四郎

平成24年 10月10日(水)～12月20日(木)

もりおか啄木・賢治青春館 2階展示ホール(入場無料)

■午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) ■11月13日・12月11日休館(毎月第2火曜日)

■11月5日(月)は、コンサート開催のため正午まで開場

【主催】 盛岡市／(財)盛岡観光コンベンション協会

【協力】 日本現代詩歌文学館／盛岡市先人記念館／盛岡市立図書館
村上昭夫生誕85周年記念実行委員会／村上成夫／佐々木筆

【後援】 岩手日報社／IBC岩手放送／テレビ岩手／めんこいテレビ／岩手朝日テレビ
エフエム岩手／盛岡タイムス社／岩手ケーブルテレビジョン

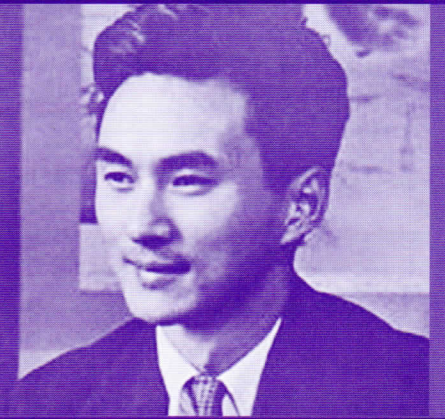
【問い合わせ先】 (財)盛岡観光コンベンション協会 企画管理部 TEL 019-604-3300



もりおか
啄木・賢治青春館



〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL&FAX 019-604-8900
<http://www.odette.or.jp/seishunkan/>
E-mail:seishunkan@odette.or.jp



村上昭夫(むらかみあきお)

1927年(昭和2年)1月5日、東磐井郡大原町(現:一関市)清水田にて村上三好、たまかの長男として生まれた。1939年(昭和14年)4月、私立岩手中学校(現:岩手高校)に入学、昭和20年の卒業後に満州国ハルビン省へ渡り、ここで終戦を迎えた。過酷な抑留生活の後、翌年に帰国し盛岡郵便局に勤務した。しかし結核を発病し、岩手サナトリウムで治療にあたった。昭夫はここで蝸牛と号して俳句を始めており、後に詩作に転じている。この結核との闘病生活は最期まで続いた。

1954年(昭和29年)、岩手県詩人クラブが結成され、その会員となり積極的に活動に参加した。また岩手日報学芸欄の「日報詩壇」へ投稿を続け、1959年(昭和34年)に誕生した詩誌「La」の会には入会后、連作「動物哀歌」を発表している。1967年(昭和42年)、処女詩集『動物哀歌』が、「La」の会の同人たちの尽力により出版される。昭夫はこの詩集によって、同年の土井晩翠(どいばんすい)賞を、翌年には優れた詩集に贈られるH氏賞を受賞した。

抑留生活や闘病生活により、逃れることのできない死の恐怖と対峙し、死を凝視する。その思いを昭夫はこう語っている。「死」という未知なものが、さまざまな動物や植物、それに、実にたくさんの人間の形態となって姿を見せました。それらのものを懸命になってノートや原稿に、書きしるしました。それが『動物哀歌』となって、世に出ました。” (盛岡市公式ホームページより)

五億年

五億年の雨が降り
五億年の雪が降り
それから私は

何処にもいなくなる

闘いという闘いが総て終りを告げ
一匹の虫だけが静かにうたっている
その時

例えばコオロギのようなものかも知れない
五億年以前を鳴いたという
その無量のかなしみをこめて

星雲いっばいにしんと鳴いている
その時

私はもう何処にもいなくなる

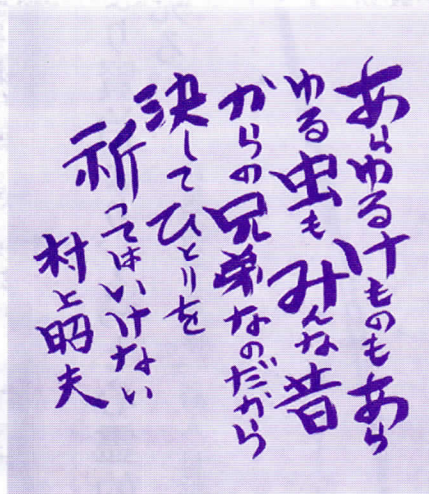
しつこかった私の影さえも溶解している
その時

五億年の雨よ降れ

五億年の雪よ降れ



詩誌『首輪』(日本現代詩歌文学館蔵)



村上昭夫自筆の詩「賢治の星」
(盛岡市先人記念館蔵)



H氏賞賞状(盛岡市先人記念館蔵)

賢治の星

小熊の星のまっすぐ上に

むせぶように光っている星がある

あれはね
賢治の星ともいうのだ

ぼくは賢治のことをよくは知らない
でも賢治の星なら知っている

あらゆるけものもあらゆる虫も
みんな昔からの兄弟なのだから
決してひとりを祈ってはいけない
賢治の星ならばよく分る

さそりの針を少しのばすと

おののくように光っている星がある
あれはね
賢治の星ともいうのだ

実をいうと

どれがほんとうの賢治の星なのか
はつきりということはできない
でもどれにしても
まるであやまちだとは言えないのだ

お前がほんとうにボウセを愛するならば
なぜ大きな勇気を出して
すべてのいきもの

幸福をさがそうとしないのか

もつと目をあいて大きく見ようよ
北からも南からも

限りなく光ってくる星がある
あれはね

みんな賢治の星と言ってもいいのだ
そうしてあなたたち
ひとりひとりの星だと言ってもいいのだ

フォーラム

岩手日報文芸欄「日報詩壇」が生んだ
「H氏賞」の詩人「村上昭夫を語る」

平成24年
10月13日(土) 入場無料

おでつてホール
(盛岡 プラザおでつて3階)

開場 13時30分 開演14時
定員200名 先着順

【問合せ先】事務局 赤澤征夫
TEL 019-661-2709

「村上昭夫」
詩の朗読会

- 朗読者
村上 成夫(昭夫実弟)
- ギター伴奏
清瀬 和雄(コーラスグループ・
サーカス元音楽監督)

パネルディスカッション
「村上昭夫を語る」

- 斎藤 彰吾(詩人・農민文化賞選考委員長)
- 北畑 光男(詩人・元H氏賞選考委員)
- 城戸 朱理(詩人・岩手日報文芸・詩の選者)
- 岡澤 敏男(歌人・宮沢賢治研究家)
- コーディネーター 高橋 克彦(作家)

- 主催 村上昭夫生誕85周年記念実行委員会(高橋克彦委員長)
- 共催 盛岡市/盛岡市教育委員会/(財)盛岡観光コンベンション協会/岩手県詩人クラブ/石桜同窓会(岩手中・高等学校)

